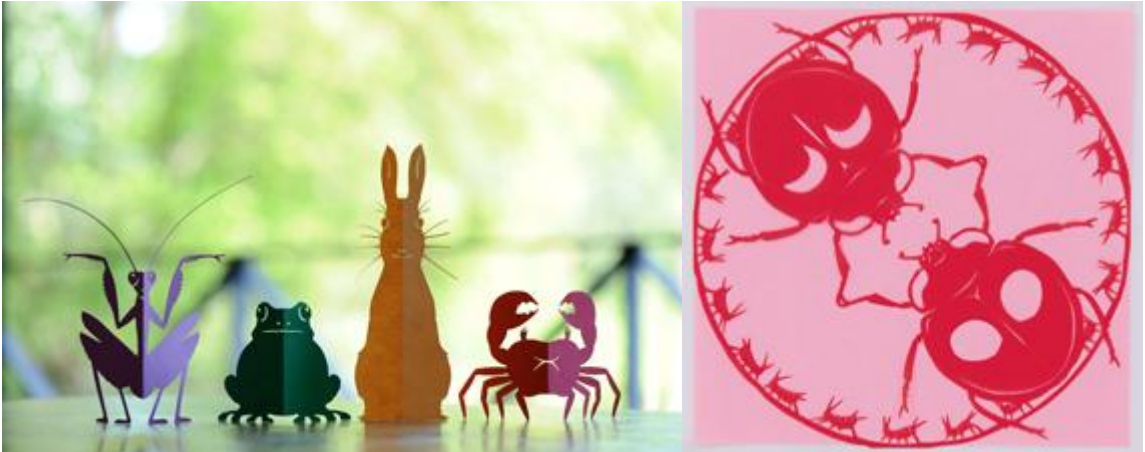


<p>名 称</p>	<p>おかざき世界子ども美術博物館 企画展 「まほうのはさみ 今森光彦の切り紙美術館」</p>
<p>会 期</p>	<p>平成24年4月28日（土）～7月8日（日）</p>
<p>内 容</p>	<p>自然写真家として、注目を浴びている今森光彦氏のもう一つの顔、それが切り紙です。2009年には、NHK教育テレビ『趣味悠々 里山へようこそ・今森光彦のすてきな切り紙』の講師をつとめ、一躍全国のお茶の間に切り紙作家として知られるようになり、各方面から熱い注目を浴びています。</p> <p>今森氏の切り紙の全貌を一堂に展観する初めての展覧会となる本展では、昆虫や植物はもちろん、世界各地で出会ってきた鳥や動物たちをモチーフにした精緻な細密画のような平面作品、立体切り紙による昆虫標本、モビールなど、切り紙の概念を覆すバラエティあふれる作品群によって「今森切り紙ワールド」を展開いたします。</p> <p>本展覧会を通して子どもたちには「はさみを使う楽しさ」を再認識してもらえればと考えています。</p> <p><b>展示内容</b></p> <p>(1) 切り紙の森へ 「切り紙をする時にいちばん大切なことは、生きものへの愛情と創造力。」(今森)。ここでは、自然の中での生き物を取り巻く1シーンを切り紙で「描き」ます。写真家今森光彦の視点をご覧ください。</p> <p>(2) 動物誌 「いままででいちばん印象に残っているのは、何といてもアフリカ。」(今森)。この章では、動物たちの豊かな表情、個性を「切り紙」で「かたち」にします。</p> <p>(3) 昆虫博覧会 「昆虫は、いちばん長くつきあっている生きもの。小さいけれど色、かたち、模様、どれも洗練されている。」(今森)。今森氏の切り紙の原点ともいえる昆虫をモチーフにした作を紹介いたします。</p> <p>(4) はさみと紙のタペストリー ここで紹介するのは、折り紙など使い、いろいろな折り方に挑戦して作られた連続した模様の作品です。身近な自然を題材にした作品づくりによって、じっくりとみることから観察力はさらに鋭くなり、自然散策はとて楽しいものになるということです。</p>
	

開館時間	午前9時～午後5時（入館 午後4時30分まで）
会場	おかざき世界子ども美術博物館 〒444-0005 岡崎市岡町字鳥居戸1-1 TEL0564-53-3511 FAX0564-53-3642
入館料	大人 300円（240円） 小中学生 100円（80円） ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※各種障がい者手帳所有者とその付添者は無料 （各種手帳を提示） ※岡崎市内（在住・在学）の小中学生は無料 （わくわくカードまたは生徒手帳を提示）
主催	おかざき世界子ども美術博物館
休館日	毎週月曜日（4月30日は開館）、5月1日（火）